

山形県広報誌県民のあゆみ令和8年3月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和8年3月号 第650号

県民のあゆみ3月号

特集1 県内企業の持続的な発展に向けたグリーントランスフォーメーションの推進（2ページ）

特集2 サンテンイチイチは「県民防災デー」（4ページ）

特集3 山形の新しいお米「ゆきまんてん」誕生（5ページ）

奏であう人（8ページ）

潜入レポート！（16ページ）

今月の表紙

製造現場でグリーントランスフォーメーション製品の開発に取り組む社員の皆さん。県工業技術センターと共同で、環境への負荷が低く、シーオーツ―排出量の削減にもつながる完全無機塗装金属パネルの開発を進め、製品化に向けて取り組んでいます。

（撮影協力：株式会社山形メタル）

<2から3ページ>

タイトル

特集 県内企業の持続的な発展に向けたGXの推進

写真キャプション やまがたグリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラル研究会
植物由来のバイオプラスチックの活用可能性を学ぶ勉強会の様子

グリーントランスフォーメーションは、企業の未来を切り拓く成長戦略。環境への配慮と成長を
両立する取組みが、新たな価値を生み出します。

なぜグリーントランスフォーメーションの推進が必要なのか？

企業活動におけるシーオーツ―排出量削減の取組みは、今や環境対策にとどまらず、取引や経営
に直結する重要な要素となっています。大企業を中心に、取引先に対して脱炭素化の取組みを求
める動きが広がりつつあり、中小企業・小規模事業者にとっても無関係ではありません。

早い段階からグリーントランスフォーメーションに取り組むことは、企業価値の向上や信頼の獲
得につながり、安定した経営基盤を築くことにもつながります。

取引先から脱炭素化に向けた協力要請を受けた中小企業の割合

2023年はnイコール5,386に対して、8.5パーセント。2024年はnイコール24,588に対して、12.0パーセント。

出典：中小企業庁「2025年版中小企業白書」

県はグリーントランスフォーメーションの「最初の一步」から「取引拡大」までを支えます
県では、グリーントランスフォーメーションに関する基礎的な理解を深める段階から、技術力の強化、新たな取引につなげる段階まで、企業の状況に応じた支援を行っています。持続的な発展・成長のため、グリーントランスフォーメーションに取り組んでみましょう。

企業のGX（グリーントランスフォーメーション）とは

化石燃料への依存を減らし、クリーンなエネルギーの活用や環境負荷の少ない技術・製品の開発などを通して、社会経済システム全体を変革していこうという取り組みのこと。

事例紹介

株式会社山形メタル（新庄市）〈建築用内外装パネル等製造業〉

山形メタルでは、大型建築物の内外装などに使用される防汚性や耐久性に優れた完全無機塗装金属パネルを開発しました。この製品は、長期間にわたりメンテナンスが不要であることから、使用段階での環境負荷を抑えることができ、シーオーツ―排出量の削減にも貢献します。

写真キャプション 試作パネル製造工程の一部

学ぶ・気づく

自社に影響する動きを知ることで、理解が深まり、自分ごとで捉えることができます。

脱炭素経営の必要性や具体的な取組事例を紹介するセミナーの開催や、電力の使用状況を「見える化」するツールである電力測定機器の貸出しなど、グリーントランスフォーメーションを自分ごととして考えるきっかけづくりを行っています。

電力測定機器使用企業の声

工場内の設備の運転方法を見直せば、電力量を削減できる可能性があることがわかった。どれくらいの電気料金が削減できるのか、換算することができた。

写真キャプション 電力測定機器(クランプ式電流ロガー)

(注釈)県工業技術センターで貸出を行っています。

挑む・磨く

技術力や開発力の向上が企業の成長につながります。

他社にはない独自技術の開発や確立に取り組む企業を支援し、県内企業のグリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラル関連産業への参入を後押ししています。

CN（カーボンニュートラル）とは…二酸化炭素（シーオーツ―）などの温室効果ガスの空気中に出る量と吸収される量を均衡させて、温室効果ガスを増やさないようにすること。

やまがたグリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラル研究会の活動紹介

「やまがたグリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラル研究会」では、グリーントランスフォーメーションやカーボンニュートラルの取組みに意欲的な県内企業などに対して、グリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラルの技術情報の提供や技術開発を支援するとともに、会員相互の連携・交流を促進しています。

勉強会

グリーントランスフォーメーションやカーボンニュートラルなどに関連するテーマについて学ぶ勉強会を開催しています。

工場見学会

県内でグリーントランスフォーメーションに先進的に取り組んでいる企業を訪問し、環境負荷削減の具体的な取組みなどを学び合う工場見学会を開催しています。

試作研究会

環境負荷の少ない素材や製品の開発などに向けた研究テーマを設定し、具体的な技術実習や評価・考察などを行っています。

令和7年度は「再生プラスチック」をテーマに開催しました。

やまがたグリーントランスフォーメーション・カーボンニュートラル研究会入会のお申し込みはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/110002/sangyo/shokogyo/kogyogi_jutsu/monozukurishinkou/2025_gxcn_kennyuu_kai.html

広げる・つなげる

グリーントランスフォーメーションへの取組みは、新たな取引やビジネスチャンスを生み出す力にもなります。

グリーントランスフォーメーション関連製品や技術を持つ県内企業と、脱炭素に取り組む発注企業とのマッチングを支援しています。

また、脱炭素経営に関心はあるものの、一歩踏み出せない企業には丁寧な情報提供などを行い、取引開始を後押しします。

写真左 高橋 取引推進員

写真右 阿波 取引推進員

阿波 取引推進員「貴社のグリーントランスフォーメーション関連製品・技術がありましたら、ぜひご相談ください！」

公益財団法人やまがた産業支援機構

問い合わせ 電話番号 023-647-0662 メール torihiki@ynet.or.jp

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組 いきいき☆やまがた 放送のご案内

「県内企業の持続的な発展に向けたグリーントランスフォーメーションの推進」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形放送（YBC）3月7日（土曜日）午後1時30分から
さくらんぼテレビ（SAY）3月15日（日曜日）午後4時から
山形テレビ（YTS）3月21日（土曜日）午後3時55分から
テレビユー山形（TUY）3月29日（日曜日）午後4時から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 産業技術イノベーション課 電話番号 023-630-2358

<4 から 5 ページ>

タイトル

サンテンイチイチは「県民防災デー」県民みんなで防災の取組みを進めよう

災害が起きたとき、あなたはどのよう行動しますか？

地震や豪雨などの災害は予測が困難です。県内では令和6年7月25日からの記録的な大雨で甚大な被害も発生しました。被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」の観点で防災に取り組むことが重要です。

本県では、防災対策において大きな教訓となった東日本大震災が発生した3月11日を、『県民防災デー（防災点検の日）』と定めています。

災害から自分自身や身近な人々を守るため、この機会に災害発生時の行動や対応について改めて考えてみましょう。

自助 自分の身は自分で守る

共助 みんなで助け合う

公助 県、市町村などが防災に取り組む

◎自助

◆市町村が作成するハザードマップなどで災害リスクを確認するとともに、最寄りの避難場所や避難所を確認しておきましょう。

◆災害が起きたときの安否確認の方法や集合場所などを家族で事前に決めておきましょう。

◆家具の固定や消火器の設置など、家の中の安全を確保しましょう。

◆ライフラインが止まった場合に備えて、食料や生活用品などを十分に（最低3日分）備えましょう。

災害への備えには、「県民防災チェックシート」をご活用ください。

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousai_jouhou/sonae/kenminbousaiday.html

◎共助

<自主防災組織の取組み>

- ◆防災訓練などを通して、地域住民全体で防災知識を習得し技能の向上を図りましょう。
- ◆災害時に支援が必要な人を把握しておきましょう。
- ◆地域で初期消火や避難誘導、救出・救護などに必要な資機材を整備しておきましょう。

<事業者の取組み>

- ◆地域の一員として、地域の防災訓練などの取組みに積極的に参加しましょう。
- ◆事業継続計画を策定しましょう。

<学校などの取組み>

- ◆市町村や地域の自主防災組織などと連携して、防災訓練を行ったり、学校施設が避難所として使われる場合の運営について普段から相談するなど、地域のみんなで防災の取組みを進めましょう。

やまがた安心ポータル「やまもり」

県民の安全・安心を守るための防災機能を有するスマートフォンアプリを新たに導入します。本アプリは、災害、避難に関する情報を受け取ることができるほか、避難所でのデジタル受付など、県民の皆さんの円滑な避難を手助けします。また、県公式総合防災サイト「こちら防災やまがた」をはじめとする防災情報のリンク集も用意しています。

登録は、このあとお知らせする URL からスマートフォンにダウンロードし、マイナンバーカードを読み取ることで簡単に行えます。

やまがた暮らしのお守りに！「やまもり」をダウンロードしましょう。

（注釈）住所地在鶴岡市、南陽市、舟形町の方は、防災情報のリンク集のみご利用いただけます。

ダウンロードはこちらから

<https://y.p8n.jp>

写真キャプション1 災害が発生した際には、市町村からの最新災害情報の通知が届き、適切な避難判断の材料となる。

写真キャプション2 避難所ではアプリによる二次元コードの読み取りなどにより、迅速かつ適切な入所受付が可能。

東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）「サンテンイチイチキャンドルナイト」

日程 令和8年3月11日（水曜日）

場所 山形県郷土館「文翔館」

内容 追悼・復興祈念セレモニーやキャンドル点灯を行います。同会場では、「県民防災デー」の取組みとして、防災アプリの利用体験や非常食の試食、VRゴーグルによる災害の疑似体験コーナーも設けます。ぜひお越しください。

問い合わせ 防災危機管理課 電話番号 023-630-2230

タイトル 山形の新しいお米「ゆきまんてん」誕生

令和9年に水稻新品種「ゆきまんてん」がデビューします！

「ゆきまんてん」の特長

「ゆきまんてん」は「雪若丸」を親に持ち、「はえぬき」のひ孫にあたります。「はえぬき」よりも高温に強く、安定した収量が期待できる品種です。

炊きあがりの「ゆきまんてん」は、粒が白く、大粒で、とてもおいしいお米です。

写真キャプション 「ゆきまんてん」

食味評価

炊飯光沢：およそ0.2

外観：およそ0.3

白さ：およそ0.5

香り：およそ0.0

味：およそ0.2

粘り：およそ0.1

硬さ：およそ0.2

総合評価：およそ0.3

（注釈1）水田農業研究所の調査結果。「はえぬき」を基準0.0として表示。

（注釈2）「硬さ」は数字が大きいほど硬く、小さいほど柔らかい。

令和9年デビューに向けて

名称の「ゆきまんてん」は、県内の小中学生を中心に応募があった3,112件の中から選ばれました。この名称は、村山市の小学5年生が命名したもので、「雪のように白く、おいしさ満点、笑顔も満天」という思いが込められています。

令和7年5月には、「ゆきまんてん」の令和9年のデビューに向け、田植えイベントを行いました。村山市の戸沢小学校の5年生の皆さんが、知事と一緒に「ゆきまんてん」の苗を1本1本大切に手植えしてくれました。

また、農業総合研究センターや県内各地の水田で栽培試験を行っています。栽培データを収集しながら、生産者の皆さんに向けた栽培マニュアルの作成を進めています。

写真キャプション1 ゆきまんてんの苗

写真キャプション2 知事と一緒に「ゆきまんてん」を植えました

写真キャプション3 「ゆきまんてん」栽培試験の水田で生育状況を確認する農家の方々

まずはこの秋から

現在、今秋のプレデビューに向けて準備を進めています。新しいお米「ゆきまんてん」を楽しみにお待ちください！

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

祝！本県が日本で唯一選出！！

「2026 年に行くべき世界の旅行先 25 選」

(米・ナショナル ジオグラフィック誌)

1) 庄内海岸林における松くい虫被害に対する緊急要望を実施

松くい虫被害に対する緊急要望 (令和 7 年 11 月 28 日 東京都)

庄内地域の海岸林は、強風や飛砂から生活や農地を守る重要な役割を担っています。しかし近年、松くい虫被害の拡大で防災機能の維持が難しくなっていることから、高橋副知事は林野庁長官に対し、防除や倒木による二次被害防止のための伐採および広葉樹などの植栽に必要な予算の確保を要望しました。また、12 月 13 日には鈴木農林水産大臣が、現地を視察され、関係者と意見を交わしました。今後一層、政府や市町と連携し、対応を進めていきます。

2) デフリンピックで輝いた県出身選手たち

東京 2025 デフリンピックで活躍した選手が知事を表敬訪問 (令和 7 年 12 月 26 日 山形市)

11 月 15 日から 12 日間にわたり熱戦が繰り広げられた東京 2025 デフリンピック。この大会で活躍されたサッカー日本代表の齋藤心温 (しおん) 選手、水泳の齋藤京香選手、ハンドボールの大崎英人選手、陸上競技の齋藤丞 (たすく) 選手が成績報告のため来庁されました。「緊張よりもワクワク感が大きかった。県民の応援が力になった」と話す齋藤心温選手は銀メダルを獲得。吉村知事は「県民も大きな元気、感動をもらいました。ますますの活躍を期待します」と激励しました。

3) 持続可能で明るい山形県の未来へ

第 12 回『県民まんなか』みらい共創カフェ (令和 8 年 1 月 13 日 寒河江市)

今回のみらい共創カフェは寒河江市のクライミングジムで開催しました。吉村知事は国内最大級の壁やスタッフの活動を視察したのち、関係者と意見交換を行いました。出席者からは「多様な働き方の導入などにより障がいのある人もない人も活躍できる山形であってほしい」、「誰もが『自分がここにいて良い』と実感でき、幸せを感じられる山形になるよう、さまざまな人が自然に集まる場所をつくっていききたい」などの前向きな意見をいただきました。

4) 陸羽西線の運転が再開されました

陸羽西線運転再開記念イベント (令和 8 年 1 月 18 日 新庄市)

令和 4 年 5 月から運転を休止していた新庄駅と余目駅・酒田駅を結ぶ陸羽西線が 1 月 16 日に運転を再開しました。1 月 18 日には、この運転再開を記念して、新庄駅・最上広域交流センターゆめりあで「陸羽西線運転再開記念イベント」をジェイアール東日本との共催で開催しました。

当日は、新庄吹奏楽団の生演奏による盛大な出発式を行うとともに、足湯や寒鱈解体ショーなど多彩な企画を催し、陸羽西線および沿線地域の魅力をPRしました。

5) 令和8年度当初予算の知事協議

令和8年度当初予算知事協議（令和8年1月26日から 山形市）

1月26日から令和8年度当初予算についての知事協議が行われました。知事協議は、当初予算として要求されている事業のうち、県民の安全・安心に関わる事業など、特に重要な県政課題への対応について、知事の最終判断を仰ぐものです。

協議の結果を踏まえた最終的な予算案については、2月中旬に県議会へ内示しました。この予算案は県議会において審議が行われています。

知事コラム

意外とすごい山形県。

これからもみんなでチャレンジ!!

昨年10月、米国の有カメディア「ナショナルジオグラフィック」の「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に日本から唯一、山形県が選出されました。画期的であり、快挙?だと思いません。

また、令和4年度の1人当たり県民所得が東北1位となりました。令和5年の工業の製造品出荷額は、3兆3千5百億円超で過去最高額となり、中でも、半導体を含む電子部品・デバイス・電子回路製造業の出荷額は全国4位で、その付加価値額（売上額から原材料費などを差し引いた額で、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値）は全国1位です。令和6年の農業産出額は、30年ぶりに3千億円を超えました。

さらに、令和5年調査の居住人口当たりの関係人口数（移住者や観光客を除く地域と多様に関わる人々）は全国1位となっており、本県単独のふるさと納税受入れ額は、現在、4年連続で全国1位です。

人口が減少する中でも、山形県の経済は元気なんです。これも、県民の皆さま、事業者の皆さまはじめ、本県に関わる全ての皆さまのご努力やチャレンジのおかげです。さらに元気な山形を目指してオール山形で挑戦していきましょう！

山形県知事 吉村美栄子

<8から9ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 85

撮影場所 やまぎん県民ホール（山形市）

キーワード **音がつむぐ地域の心**

山形交響楽団を率いて、地域に根ざしたオーケストラの活動を支える西濱秀樹さんと、篠笛奏者として活動する一方、上山藩鼓笛楽保存会の会長を務める藤原雪さん。音楽とともに歩んできたお二人に、音楽が人や地域にもたらす価値についてお聞きしました。

西濱秀樹（にしはまひでき）さん（山形市）

1971年大阪府生まれ。公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団において、楽団の法人化と経営の安定化に貢献。その後、請われて2015年より公益社団法人山形交響楽協会専務理事兼事務局長に就任。オーケストラの企画・運営を行いながら、音楽と地域社会との関わりについて考え続けている。

写真キャプション 山形交響楽団の創立以来、半世紀以上続くスクールコンサートでは、これまでに延べ300万人の子どもたちがオーケストラの生の音に触れている。西濱さんは、子どもたちが記憶に残るようわかりやすく曲の解説を行っている。

藤原 雪（ふじわらゆき）さん（東京都）

1988年上山市生まれ。幼少期から無形文化財である上山藩鼓笛楽隊に参加。篠笛奏者として演奏活動を行うとともに、近年は女性初の隊長として、鼓笛楽隊の活動拡大に取り組んでいる。鼓笛楽隊として、令和元年の天皇陛下御即位奉祝行事での奉奏や、昨年行われた大阪・関西万博で演奏を披露した。

写真キャプション 江戸時代から続く、地域に根ざした音の文化である上山藩鼓笛楽隊。現在は月に数回上山に戻り藤原さんが指導的な立場として関わり、次代を担う子どもたちの育成に取り組んでいる。

音楽との出会いが、今の自分に続いている

「音楽との初めての出会いは、2歳の時でした」藤原さんは、穏やかに話し始めます。上山市の祭りで耳にした約380年前から続く、鼓笛楽隊の調べ。その音は、家族や親戚、そして地域で共有する、特別な思い出となっていました。

「幼いながらもその時感じた多幸感が、今でも心の奥にあります。その体験が音楽家として活動する、今の自分につながっているのだと思います」。

音楽はなにか特別なものではなく、日常の延長にあるものだったと藤原さんはいいます。誰かに教えられたわけでも、意識していたわけでもない。それでも、確かに残っている感覚が、今の演奏活動の原点になっていると話します。

一方、西濱さんが話すのは、音楽を聴く側としての体験です。

「若い頃、オーケストラの演奏を聴き、感動で動けなくなってしまったことがあります」。その経験が、演奏者ではない立場でオーケストラに関わる道を選ぶ、大きなきっかけになったと話す西濱さん。

「生で聴いた音楽は、人の心に強く残り、行動のきっかけにもなり得ると思います。それ以来、音楽で、オーケストラで、世の中を変えられるのではないかと考えるようになりました」。

子ども達と共有する、かけがえのない体験

お二人が共通して話したのは、子ども達と音楽が出会う場面についてでした。

「スクールコンサートで、子どもたちが初めてオーケストラの音を聴いた時の表情は、何度見ても印象的です」。西濱さんはそう話し、「幼少期に本物の音を聴いたという経験は、聴く機会に恵まれなかった場合に比べて、はるかに成長の糧になるのではないのでしょうか」と続けます。

藤原さんも鼓笛楽隊の活動を通して、長く子ども達と向き合ってきました。

「同じ曲をみんなで演奏して、『できた!』という感覚を一緒に味わう。その時間を重ねる過程で、音楽が子どもたちの間で自然に共有されていくのを感じます」。

その経験が、すぐに何かの形になるわけではないかもしれない。それでも、いつか実を結ぶ日が来るのだろうと、日々の活動の中で感じていると言います。

「その場で理解できなくてもいいのです」と西濱さん。「大人になってから、ふと音を思い出す。その経験自体が、十分に意味を持っていると思います」。

音楽が持つ力、音楽がつなぐ未来

「音楽はすぐに結果を与えてくれるものではありませんが、人の内側に静かに積み重なっていくものだと思っています」と話す西濱さん。藤原さんは「言葉や世代を越え、人の心に届くものだと思います」と応え、「同じ時間を共有した感覚が残る。それが、音楽の持つ力なのかと思います」と続けます。

音楽で山形と向き合ってきたお二人は、この地域への思いについても話します。「私たちは、いつの間にか自分たち自身の評価を見誤っていないでしょうか。日本人には物事をカテゴリー化して当てはめようとする傾向があるといわれます。それは、山形県民にもいえることで、発信が苦手、目立つのは得意ではないといった観念を自分たちに当てはめ、挑戦しない理由を先に用意してはいないでしょうか。固定観念や人の評価に流されず、自分の感性で好き嫌いを自由に判断し、そして新しい挑戦を応援する姿勢でいてほしい。意識を少しずつ変えていければ、この街はもっと夢を描けるはずです」。

近年、不寛容になりつつある社会の中で、人と人とをつなぐのが、音楽の力。これからの社会を担い、文化の土壌を作っていく子どもたちが、日常的に良い音楽と触れ合える環境を整えること。その積み重ねが、私たち県民一人ひとりの意識を、少しずつ変えていく力になるはず。とも話すお二人。そこには、山形のこれからの考えるヒントがあるように感じられました。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 113 号

県議会の最新情報 こちらから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

12 月定例会の概要

令和 7 年 12 月定例会は、12 月 2 日から 19 日までの 18 日間の会期で開催されました。

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援や防災・減災、国土強靱化に向けた取組みの充実を図るため追加提案された令和 7 年度一般会計補正予算および山形県特別職の職員の給与等の支給に関する条例等の一部を改正する条例の設定をはじめとする知事提出の 53 議案を可決・承認・同意しました。また、請願は 4 件上程され、3 件を採択し、1 件を継続審査に付すべきものと決定しました。

今定例会では、北朝鮮による日本人拉致問題の解決に向けた本県の対応や、非核三原則の見直しに対する知事の所見など幅広い分野で活発な質疑質問が行われました。

12月定例会で採択した請願

- 飛島の特定有人国境離島地域への追加指定を求める意見書の提出について
- 「ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書について」の請願
- 山形県におけるひきこもり支援の制度拡充及び充実を求める請願

12月定例会で可決した意見書

- 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- 飛島の特定有人国境離島地域への追加指定を求める意見書
- ひきこもり支援に関する法整備を求める意見書

12月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから

録画中継

<https://gikai.pref.yamagata.jp/yamagatapref/vod>

会議録検索システム（12月定例会分は3月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html>

代表質問（12月5日）

自由民主党 相田光照 議員（米沢市選挙区）

◆北朝鮮による日本人拉致問題の解決に向けた本県の対応 など

県政クラブ 高橋啓介 議員（山形市選挙区）

◆非核三原則の見直しに対する知事の所見 など

一般質問（12月8日）

自由民主党 高橋弓嗣 議員（東根市選挙区）

◆さくらんぼの結実に向けた取組み など

県政クラブ 松井 愛 議員（山形市選挙区）

◆県立高校入学者選抜におけるICT機器を利用した合理的配慮の実施 など

自由民主党 佐藤文一 議員（新庄市選挙区）

◆ゲートウェイ型道の駅構想 など

予算特別委員会（12月10日・11日・12日）

自由民主党 鈴木 学 議員（東村山郡選挙区）

◆子どもに対する性犯罪を防止するための環境整備 など

県政クラブ 江口暢子 議員 (酒田市・飽海郡選挙区)

◆庄内地域における松くい虫の二次被害対策 など

自由民主党 石塚 慶 議員 (鶴岡市選挙区)

◆持続可能な漁業振興に向けた山形県漁業協同組合との協働 など

自由民主党 遠藤寛明 議員 (上山市選挙区)

◆河川流下能力向上・持続化対策計画の改定に向けた検討状況 など

日本共産党山形県議団 関 徹 議員 (鶴岡市選挙区)

◆多文化共生の実現に向けた取り組み など

自由民主党 遠藤和典 議員 (山形市選挙区)

◆起債利払いの低減策 など

県政クラブ 木村忠三議員 (米沢市選挙区)

◆置賜地域における広域連携の展開 など

自由民主党 船山現人議員 (東置賜郡選挙区)

◆地域の守り手である建設業の継続的発展 など

議会用語 請願

県政や国政に対する要望や意見を議会に提出するもの。どなたでも提出できますが、県議会議員の紹介が必要となります。詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/variousguides/annai-1.html>

次期県議会議員一般選挙に係る議員総定数などの検討結果を議長に報告

山形県議会定数等検討委員会では、次期県議会議員一般選挙(令和9年4月)に係る議員総定数などについて調査検討を行ってきました。これまでの検討経過や関係法令、人口動態、県市長会・県町村会の役員などからの意見などを踏まえ、議員総定数などは現行のとおりとする検討結果を12月8日に田澤議長に報告しました。

女性・若者と県議会議員との意見交換会を開催

1月23日、女性や若者に県議会や政治への関心を深めてもらうとともに、その意見を聴くため、「若者にとって魅力的な企業」や「山形で暮らすことの魅力」をテーマに、働きやすい職場づくりに取り組む株式会社ハッピージャパンの若手社員の方々と県議会議員との意見交換会を開催しました。

高校生による障がい者就労事業所製品などの販売実習を実施

県民が議会に来訪し理解を深める機会を創出する取り組みとして、県立酒田光陵高等学校の生徒による販売実習「mara(マラ)マルシェイン山形県議会」を議事堂内で実施しました。

併せて、県議会ギャラリーで同校の課題研究の取り組みを紹介しました。

マラマルシェイン山形県議会

ビジネス流通科の生徒が障がい者就労事業所などでつくられたお菓子や木工製品などを販売しました。また、議事堂の見学や予算特別委員会の傍聴も併せて行いました。

県議会ギャラリー

古民家の活用や未利用魚の消費拡大など、ビジネス流通科の生徒が取り組んだ課題研究の成果を展示しました。

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

11月27日、身近な県議会を目指して、県立保健医療大学の学生と県議会議員との意見交換会を開催しました。学生による活動報告の後、「看護学生が考える山形県の保健・医療体制の現状や課題」、「医療機関における働き方の現状や課題」をテーマとして、2班に分かれて活発な意見交換を行いました。

若者向け広報紙「県議会ナビ第10号」を発行

若い皆さんから県議会に関心を持ってもらうため、若者向け広報紙「県議会ナビ第10号」を発行しました。

発行に当たっては、若い方の感性を生かしたデザイン・内容とするため、取材や編集に山形大学のフリーペーパー作成サークル「Y-ai！（ヤイ）」の皆さんから協力していただきました。

こちらからご覧ください

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/a>

山形県議会ホームページは県議会の情報が満載です。ぜひご覧ください!!

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局政策調査室 電話番号 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **ピックアップ** 今年山形県誕生 150 周年！

明治9年8月21日、置賜・鶴岡・山形の3県が合併して現在の山形県が誕生し、今年で150年を迎えます。

初代県令・三島通庸(みちつね)の主導で着工し、明治10年11月3日に落成した初代県庁は、当時の政府が掲げた「富国強兵」「殖産興業」を地方で実現する拠点として、政府の威光を県下に示す役割を担うものでした。

初代県庁は、正面に高さ約 20 メートルの三層楼を備えた立派なもので、明治 11 年に山形を訪れたイギリスの旅行家イザベラ・バードの旅行記にも「…大通りの奥の正面に堂々と県庁があるので、日本の都会には珍しく重量感がある…」と記されるほど、威風堂々たる洋風建築でした。

しかし、この初代県庁は明治 44 年の山形市北部大火で焼失してしまいます。大正 2 年から 5 年にかけて建て直された二代目の県庁舎は、昭和 50 年まで使用され、修復を経て、現在、山形県郷土館「文翔館」として親しまれています。

写真キャプション1 初代・県庁(明治 10 年落成)

写真キャプション2 高橋由一「山形市街図」(明治 14 年)

問い合わせ 広報広聴推進課 電話番号 023-630-2534

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

大阪エリア 大阪で山形の観光と特産品を PR!

県大阪事務所では、大阪駅前第 1 ビルに入居する 13 の県事務所合同で、昨年 12 月 11 日と 12 日に「ふるさとの観光と名産品祭り」を開催しました。

本県では観光 PR と併せて、ラ・フランス、りんご、玉こんにゃくなどの特産品を販売し、多くのお客さまにご来場いただきました。今回で 26 回目の開催となる本イベントは、ラ・フランスを楽しみに来場される方が多く、「昨年食べておいしかったのでまた買いに来ました」といったうれしい声を多数いただきました。また、おいしい山形推進機構のペロリンも駆けつけ、イベントを大いに盛り上げました。

今後も大阪事務所では、さまざまな活動を通じて関西地域をはじめ西日本の皆さんに県産品や本県の観光の魅力を発信していきます。

写真キャプション1 イベントを盛り上げるペロリン

写真キャプション2 ラ・フランスを選ぶお客さま

問い合わせ 県大阪事務所 電話番号 06-6341-6816

タイトル **県内おススメ文化・スポーツ情報**

やまぎん県民ホールイベント情報

やまがた文化の回廊フェスティバル 2026

山形市内の文化施設と中心市街地をめぐって 多彩な魅力を発見するフェスティバル!

期間

3 月 14 日(土曜日) から 29 日(日曜日)

会場

やまぎん県民ホール、山形市民会館、山形テルサ、文翔館、県立博物館、県立図書館、山形美術館、最上義光歴史館、キューイチ、紅の蔵、ジェイアール山形駅 ほか

第 30 回山形県トップコンサート

令和7年度に全国大会・東北大会などで優秀な成績をおさめ、選出された団体が県内トップレベルの演奏を披露します。

開催日時

3月20日（金曜日・祝日）午後1時30分

料金

一般指定席 1,000円

ミュージカル「ジキル&ハイド」

手にするのは愛か、破滅か—東京、大阪、福岡、愛知、山形の5都市で開催する話題のミュージカルにご期待ください。

開催日時

4月25日（土曜日）26日（日曜日）午後1時

出演

柿澤勇人/佐藤隆紀（ルヴェルヴェッツ）、真彩希帆/和希そら、ドリームアミ/唯月ふうか（各Wキャスト）、豎山隼太、章平、佐藤誓、栗原英雄 ほか

料金

プレミアムシート 20,000円 S席 14,000円 A席 9,800円 B席 7,800円 ほか

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

（受付時間：水曜日から月曜日 午前10時から午後7時）

山形交響楽団演奏会

第331回定期演奏会

開演日時

3月7日（土曜日）午後7時

3月8日（日曜日）午後3時

出演

指揮：大植英次、ヴァイオリン：前田妃奈

演目

エルガー：弦楽セレナード ホ短調 作品20、チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35、ベートーヴェン：交響曲 第4番変ロ長調 作品60

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 5,500円 B席 5,000円 ほか

やまぎん県民ホールシリーズバージョン4「オーケストラの日2026」

開演日時

3月29日（日曜日）

ワークショップ：午後1時30分から午後3時

コンサート：午後4時

出演

指揮：竹本泰蔵、ゲストアーティスト：森崎ウィン、はいだしょうこ、コラボキャラクター：たべっ子どうぶつ

演目 等

アンダーソン：舞踏会の美女、リスト：ハンガリー狂詩曲 第2番 ほか

★森崎ウィンアンドはいだしょうこが夢の共演！

★ワークショップでは、楽器演奏や指揮者の体験コーナー、ミニコンサート、バックステージツアーなどが行われます！

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

前売券

S席 5,000円 A席 4,000円 ほか

（（注釈）ワークショップは入場無料です）

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 山響チケットサービス 電話番号 023-616-6607

（受付時間：月曜日から金曜日 午前10時から午後5時）

問い合わせ 県民文化芸術振興課 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

3月8日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ブラウブリッツ秋田

会場

NDソフトスタジアム山形（天童市）

日時

3月22日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ベガルタ仙台

会場

NDソフトスタジアム山形（天童市）

日時

3月29日（日曜日）午後2時

対戦チーム

栃木シティ

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時

3月7日（土曜日）午後3時

3月8日（日曜日）午後2時

対戦チーム

熊本ヴォルターズ

会場

山形県総合運動公園

日時

3月21日（土曜日）午後3時

3月22日（日曜日）午後2時

対戦チーム

バンビシヤス奈良

会場

山形県総合運動公園

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

「アランマーレ山形」ホームゲーム

日時

3月14日（土曜日）午後2時

3月15日（日曜日）午後1時

対戦チーム

クロベアクアフェアリーズ

会場

山形県総合運動公園

日時

3月21日（土曜日）午後2時

3月22日（日曜日）午後1時

対戦チーム

PFU ブルーキャッツ石川かほく

会場

インペックス酒田アリーナ

詳しくは検索窓に「アランマーレ山形」と入れてクリック。

注釈 最新の情報はホームページをご覧ください。
問い合わせ スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ 雁喰い（黒豆）の黒プリン

材料（2人分）

雁喰い（煮た状態）（120グラム）、はちみつ（大さじ1）、粉ゼラチン（5グラム）、牛乳（180シーシー）、グラニュー糖（20グラム）

事前準備

（煮豆づくり）雁喰いを一晩水につけ、一度水を捨てる。鍋に雁喰いと水をたっぷり入れ、1時間半くらいを目安に煮る。（注釈）アクをすくいながら、途中お湯が少なくなってきたら、水を足す。

（煮豆の味付け）煮た状態の雁喰いとはちみつを鍋に入れて混ぜ合わせる。（注釈）クツクツしてくるまで煮る。

作り方

- 1 雁喰い10粒を調理とは別に残しておく。（最後の飾り用）
- 2 鍋に牛乳を入れ、人肌程度に温まったら、下ごしらえした雁喰い・グラニュー糖・ゼラチンを入れヘラで全体を混ぜる。
- 3 ミキサーにかける。
- 4 プリン型またはグラスなどに入れ、氷水で粗熱をとってから冷蔵庫で1時間程度冷やす。
- 5 固まったら最初に残しておいた豆を飾る。

最上传承野菜「雁喰い」

収穫時期：10月下旬

最上地域で古くから栽培されている最上传承野菜の一つ。豆の真ん中に雁がかじったような模様が出ることから名前がついた。煮ると柔らかくて甘味がある。黒豆煮のほか、若いうちに収穫して枝豆として食べてもおいしい。

（注釈）最上传承野菜：最上地域特有で概ね昭和20年以前から栽培されている野菜・豆類で自家採種しているもの。現在33品目が認定されている。

問い合わせ 最上総合支庁農業振興課 電話番号 0233-29-1315

<14から15ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和8年1月1日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 991,279人（前月比マイナス1,127人）

世帯数 401,429世帯（前月比マイナス241世帯）

【試験】

令和8年度山形県職員採用試験

職員採用試験(大学卒業程度・先行実施枠)の受験案内を3月1日(日曜日)から県職員採用ホームページで公開します。紙での配布を希望の場合は、開庁日に下記配布場所までお越しください。

◆**配布場所** 県庁(1階受付、15階人事委員会事務局)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)

ダウンロードはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosikentop/index.html>

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

【催し物】

オープンキャンパス情報

県立産業技術短期大学校庄内校(酒田市)

◆**日時** 3月8日(日曜日) 午前10時から正午(注釈) 出入自由

◆**内容** 学校概要説明、学科別ガイダンス、個別相談

電話番号 0234-31-2300

第43回 日本脳腫瘍学会学術集会主催市民公開講座

脳卒中や脳腫瘍の予防と治療、がんに対する重粒子線治療などについて、一般県民向けの公開講座を開催します。ぜひ、ご参加ください！

◆**日時** 3月8日(日曜日) 午前10時から正午

◆**場所** 山形市保健所(霞城セントラル)3階

◆**入場** 無料 どなたでも(200名)

◆**事前申込不要**

問い合わせ 山形大学医学部脳神経外科医局 電話番号 023-628-5349

担当 がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2313

野外活動を楽しもう！

少年自然の家ではさまざまなイベントを開催します。天候などで内容が変更になる場合もありますので詳しくは各施設までお問い合わせください。

朝日少年自然の家(大江町)

電話番号 0237-62-4125

プラネタリウム一般公開 春・夏の星空巡り

日程：5月9日(土曜日)・10日(日曜日)

内容：プラネタリウム鑑賞、天体望遠鏡での観望会

対象：どなたでも

朝日わくわく広場1 家族でやってみよう！デイキャンプ！

日程:5月23日(土曜日)

内容:親子でテント設営、野外炊飯、自然遊び

対象:こどものいる家族

金峰少年自然の家(鶴岡市)

電話番号 0235-24-2400

きんぼう春フェスタ

日程:4月26日(日曜日)

内容:たき火体験、野外活動、アクティビティ体験、クラフト体験など

対象:どなたでも

エンジョイ金峰山登山1

日程:5月16日(土曜日)

内容:春の山野草を楽しみながら登る金峰山登山

対象:小学生以上(小・中学生は保護者同伴)

わんぱく自然塾 春の巻

日程:5月23日(土曜日)から24日(日曜日)

内容:金峰山登山、野外ゲーム、野外炊飯など

対象:小学4年から中学生

飯豊少年自然の家(飯豊町)

電話番号 0238-74-2331

いいでファミリーキャンプ1

日程:4月25日(土曜日)から26日(日曜日)

内容:野外炊飯、テント泊など

対象:幼児から中学生と保護者

春のオープンデー

日程:5月10日(日曜日)

内容:体験屋台、クラフト屋台、フードコーナー、アスレチックなど

対象:どなたでも(幼児は必ず保護者同伴)

いいでワイルドアンドアドベンチャー春キャンプ

日程:5月23日(土曜日)から24日(日曜日)

内容:ナイトハイキング、野外炊飯、テント泊など

対象:小学3年から中学生

神室少年自然の家(真室川町)

電話番号 0233-62-2611

カムカム神室

日程:4月11日(土曜日)

内容：ミニ登山、自分時間（クラフト・焚火など）、コンサート、カフェコーナーなど
対象：どなたでも

神室スプリングフェス

日程：5月9日（土曜日）

内容：春の野外散策・各種体験活動ブース

対象：どなたでも

【お知らせ】

やまがた e 申請を利用して県への一部の手数料が納付できるようになります

県民の皆さんの利便性の向上のため、「山形県公金収納デジタルトランスフォーメーション基本方針」に基づく取組みの一つとして、県証紙により納付いただいていた一部の手数料に、令和8年3月から「やまがた e 申請」を利用した電子納付を導入します。従来の県証紙による納付に加えクレジットカードおよびスマートフォンによるコード決済が選択できます。対象手数料は、順次拡大していきます。

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/480001/kensei/zaisei/2nd_kenshoshi/index.html

問い合わせ 会計局会計課 電話番号 023-630-2704

ヘルメットを着用し、安全に自転車に乗りましょう！

3月に入り、道路状況が良くなることで自転車を利用する機会が増えます。自転車事故にはくれぐれもご注意ください。自転車事故で亡くなった方の半数は頭部に致命傷を負っているというデータがあります。自転車に乗る際は、必ずヘルメットを着用し、皆さんの大切な命を守ってください。

県では、高校生を対象とした自転車ヘルメットの購入費用助成事業を実施しています。安全基準を満たしたヘルメットを3月31日（火曜日）まで2,000円引きで購入できますので、ぜひご利用ください！詳しくは県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/jitensya/r7_helmet_hojo.html

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

車検証の住所変更について

自動車をお持ちの方は、住所が変わった場合、車検証の住所変更の手続きが必要です。3月末までに手続きが完了しないと、新しい住所に自動車税納税通知書が送付されません。通知書が届かないと納税ができず、車検を受けられない場合がありますのでご注意ください。

◆問合せ先(3月末まで)

山形ナンバー

山形運輸支局 電話番号 050-5540-2013

庄内ナンバー

庄内自動車検査登録事務所 電話番号 050-5540-2014

3月末までに手続きが終わらない方は、各総合支庁税務担当課へ自動車税住所変更届出書を提出してください。

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-2005

<https://www.pref.yamagata.jp/020007/youshiki/jidousha/jusyohenko.html>

有毒植物にご注意！

春は山菜や野菜が芽吹く季節です。

植物によっては有毒なものもあり、誤って食べてしまうと危険です！

特に、スイセンはニラと間違えやすい植物で、食べると吐き気やおう吐などを引き起こします。スイセンなどの有毒植物を間違えて食べないように、野菜と観賞用植物は区別して植えましょう。山では山菜と有毒植物が入り混じって生えていることがあります。自信を持って食用と判断できないものは、絶対に採らないでください。もし、山野草を食べた後に、しびれやおう吐などの症状がみられた場合は、残った料理や材料を持って速やかに医療機関を受診してください。

問い合わせ 食品安全衛生課 電話番号 023-630-2677

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/05-02-04/index.html

3月は「自殺対策強化月間」です

こころの健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

◆こころの健康相談統一ダイヤル 電話番号 0570-064-556

◆受付時間 月曜日から金曜日(祝日除く) 午前9時から正午、午後1時から午後5時
(注釈)3月1日(日曜日)から7日(土曜日)は土日を含め午前9時から午後5時まで受付をします。

◆こころの健康相談アットマーク山形

ラインを利用した相談窓口を毎日午後6時30分から午後10時まで開設しています。

(注釈)3月は受付時間を午後11時まで延長します。

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2269

アカウントはこちら

<https://line.me/R/ti/P/%40950wtmqh>

女性のための無料の居場所

女性が気軽に立ち寄ることができる無料の居場所を県内4地域で開設しています。お一人でゆったりと過ごしたり、誰かとお話したり、ワークショップに参加したり自由にご利用いただけます。女性スタッフが常駐し、個別のお悩み相談も行っています。

◆開設場所

村山地域での開設場所：雨やどりガールズおしゃべり会

住所 山形市小荷駄町2の7

最上地域での開催場所：あじさいカフェ

住所 新庄市本町6の11

置賜地域での開催場所：ほっと・カフェ

住所 飯豊町大字椿 3592 の 3

庄内地域での開催場所：ひなたカフェ

住所 鶴岡市陽光町 10 の 36

(注釈) 各施設において、各種イベントを開催しています。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/46263/ibasyo.pdf>

女性のための SNS 相談窓口

女性が抱えるあらゆる悩みを相談していただける SNS 相談窓口を設置しています。相談は無料で、相談内容はほかの方には公開されません。相談者の秘密は守ります。

◆対応時間

月曜日から土曜日 午前 10 時から午後 6 時

◆相談方法

二次元コードからラインで友だち追加をしてメッセージを送ってください。専門スタッフが順番にお返事します。

問い合わせ こども家庭福祉課 電話番号 023-630-2267

ラインの友だち追加はこちら

<https://lin.ee/1KBRBEm>

異動の季節! 本の返却お忘れなく!

3月は卒業や転勤などの時期です。引越しなどで部屋の片付けをされていて、県立図書館から借りて返し忘れていた本が出てきたりしませんか？

図書館の蔵書は県民の大切な財産です。返却期限を過ぎていても大丈夫。もし見つかった場合は、忘れずに返却をお願いします。

県立図書館は、県内在住のほか、県内に通勤・通学されている方であれば貸出し利用ができます。4月から県内で新生活を始められる方も、ぜひ県立図書館をご利用ください。

問い合わせ 県立図書館 電話番号 023-631-2523

詳しくはこちら

<https://www.lib.pref.yamagata.jp/>

運転に不安を感じたらまずは相談

加齢に伴い、視野障害や筋力の衰えなど身体機能が低下すると、運転操作のミスへとつながります。これにより、重大な交通事故を引き起こす可能性が高まります。「若い頃とちょっと違うな」「おかしいな」と感じたら、運転免許証の返納について一度考えてみませんか？。

最近、こんな経験ありませんか？

- ・ 視野が狭くなったり、部分的に見えづらくなった。
- ・ 身体の動きが若い頃より鈍くなった。

- ・物忘れが多くなった。
- ・運転中ヒヤッとしたことがある。

運転免許証を返納すると「運転経歴証明書」の交付が受けられます。

(注釈)運転免許証に代わる公的な身分証明書として銀行口座の開設時などに利用可能です。そのほか、タクシー、バスの運賃割引や宅配料金の割引などさまざまな特典が受けられます。(自治体により異なります。)

高齢ドライバーや家族のみなさん

高齢や病気などで運転を続けることに 不安を感じたらお電話ください。

安全運転相談ダイヤル

シャープ 8080 (シャープハレバレ)

各種特典が受けられます。詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/untmenkyoshou-jishuhennousyashien.html>

問い合わせ 県総合交通安全センター 電話番号 023-655-2150

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

神町駐屯地 前編

陸上自衛隊の神町駐屯地ってどんな施設なの？

ひとつのまちのようにつくられた、
皆さんの安心な暮らしを守る施設です。

東根市にある陸上自衛隊神町駐屯地は、東京ディズニーランドの3倍を超えるととても広い敷地を持ち、全国に160以上ある陸上自衛隊の駐屯地・分屯地の中でも6番目の広さです。この駐屯地には、国民の命や財産を守り、地震や大雨といった災害などにも対応するため、さまざまな訓練を行うグラウンドや体育館、プール、特別な車両や道具を点検・整備する工場、燃料や食料を安全に保管する倉庫などが整備されています。約2,000人の自衛隊員が緊急時にすぐ活動できるよう、敷地内には寮や食堂、売店や理髪店などの生活に必要な施設も完備されています。これらの理由から、敷地全体がひとつの小さなまちのようになっているのです。

写真キャプション1 4月の記念行事では、訓練風景など身近で見ることができます

写真キャプション2 敷地内の桜は一般開放。ライトアップも行われます

ヒミツポイント

<戦車も動かせる!?!特別な教習所>

特殊車両の免許取得を目的とした教習所。大型トラックやホイールローダー、戦車などの運転に必要な教習を受けることができます。

<栄養たっぷりの献立で、健康をサポート>

約 800 人を収容できる広い食堂。量やカロリーは栄養士が管理し、おいしく、かつ体にも良い献立が朝昼晩 3 食提供されています。

<自衛隊の歴史がわかる防衛館>

駐屯地の歴史や、旧陸軍時代からの写真や資料を集めた資料館です。約 2,000 点の展示があり、国際平和協力や災害派遣についても学ぶことができます。

<売店や理髪店が並ぶ厚生センター>

厚生センターは隊員の生活を支える複合施設です。売店では、自衛隊ならではのオリジナルグッズなどもあり、お土産も買えます。

<屋内 25 メートルプールも完備！>

体力向上のためのトレーニングや、戦闘服を着たまま泳ぐ「着装訓練」などで使用します。

<隊員の意見を投票で反映！>

独身の隊員が利用する寮は、投票の結果を踏まえ、快適に過ごせるようにプライバシーに配慮した部屋になっています。

第 6 師団副師団長兼神町駐屯地司令

貴島康二（きじま こうじ）陸将補

神町駐屯地にはそれぞれ専門の任務を行う 17 の部隊があり、皆さんの生命と財産を守るため、日々訓練などを行っています。4 月に行われる記念行事では自衛隊の装備品見学や活動など知る良い機会ですのでぜひ足を運んでみてください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和 8 年 3 月号 650 号

奇数月 1 日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目 8 番 1 号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>